

2020年9月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(火)	600	▲ 32,700	▲ 32,100	財政融資資金の回収 2Y発行▲30000償還8000	国債買入8800 CP買入▲100 国債補完200・▲100
2(水)	▲ 100	▲ 43,700	▲ 43,800	年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ 普通交付税 労働保険料揚げ 10Y発行▲26000 交付税借入▲10000期日10500	短国買入20000 CP買入▲200 社債買入▲100 国債補完100・▲100 成長基盤1800・▲3000
3(木)	100	▲ 7,600	▲ 7,500		国債買入9100 CP買入▲400 社債買入▲100 ETF買入300 国債補完100・▲200
4(金)	300	▲ 5,700	▲ 5,400	30Y発行▲9000 交付税借入▲10000期日10500	CP買入▲600 社債買入▲100 国債補完200 国債売現先(米ドル用)1000
5(土)			0		
6(日)			0		
7(月)	1,000	▲ 6,000	▲ 5,000	TB3M発行▲75500償還73900	全店共通(固)▲2800 CP買入6000
8(火)	1,000	2,000	3,000		
9(水)	0	▲ 23,000	▲ 23,000	5Y発行▲25000	
10(木)	0	▲ 8,000	▲ 8,000	TB6M発行▲36000償還23700	
11(金)	0	▲ 11,000	▲ 11,000	20Y発行▲12000 交付税借入▲10000期日11700	社債買入3000
12(土)			0		
13(日)			0		
14(月)	0	▲ 27,000	▲ 27,000	源泉税揚げ TB3M発行▲75500償還49100	国債売現先(米ドル用)8800
15(火)	0	▲ 1,000	▲ 1,000	個人向け3Y・5Y・10Y▲1000(見込み) / 個人 向け3・5Y償還400	
16(水)	0	▲ 5,000	▲ 5,000	流動性供給発行▲5000	貸出増加支援▲49500
17(木)	0	0	0		CP買入6000
18(金)	▲ 1,000	9,000	8,000		国債売現先(米ドル用)15100 被災地支援▲800
19(土)			0		
20(日)			0		
21(月)			0		
22(火)			0		
23(水)	1,000	81,000	82,000	国債の大量償還・利払い TB3M発行▲75500償還80200 TB1Y発行▲35000償還9200 流動性供給▲4000 5Y償還21400 10Y償還50900 20Y償還5600 変動15Y償還9000 エネルギー対策借入▲6000期日7000 財政融資資金の回収	
24(木)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000		
25(金)	▲ 1,000	▲ 40,000	▲ 41,000	TB6M発行▲37000 40Y発行▲5000	社債買入2000
26(土)			0		
27(日)			0		
28(月)	1,000	2,000	3,000	TB3M発行▲75500償還81200	国債売現先(米ドル用)1600
29(火)	0	1,000	1,000		CP買入6000
30(水)	100	▲ 2,000	▲ 1,900		

計	4,000	▲ 119,700	▲ 115,700
---	-------	-----------	-----------

今月は、月初、月末に財政融資資金の回収、2日に税・保険料揚げ、普通交付税、地方特例交付金、14日に源泉所得税揚げ、23日に国債の大量償還・利払いがある。今年には新型コロナウイルスの影響で本来7月に行われる予定であった労働保険料揚げが月初に行われる見込み。
主な不足日(見込み) 1日、2日、9日、11日、14日、25日 主に財政等要因
主な余剰日(見込み) 23日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2020年9月見込み）出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比	銀行券当月末残高 前年同月比見込み
銀行券要因	4,000	2,673	1,327	5.7%
財政等要因	▲ 119,700	▲ 39,884	▲ 79,816	
国債等	▲ 31,200	12,839	▲ 44,039	
国庫短期証券等	▲ 94,200	▲ 3,125	▲ 91,075	
上記を除くその他	5,700	▲ 49,598	55,298	
資金過不足	▲ 115,700	▲ 37,211	▲ 78,489	

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。
日本銀行が国債買入オペ等を通じて前月末までに取得した国債の当月における償還額は119,600億円程度。
日本銀行が国庫短期証券売入オペ等を通じて前月末までに取得した国庫短期証券の当月における償還額は73,400億円程度。

◆財政資金対民間収支（2020年9月中見込み）出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	▲ 41,980	▲ 19,188	▲ 22,792	
租税	40,130	42,638	▲ 2,508	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	1,360	1,253	107	
社会保障費	▲ 20,690	▲ 13,305	▲ 7,385	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の交付等
地方交付税交付金	▲ 40,050	▲ 39,659	▲ 391	普通交付税の交付等
防衛関係費	▲ 2,620	▲ 2,776	156	
公共事業費	▲ 2,320	▲ 2,387	67	
義務教育費	▲ 930	▲ 929	▲ 1	
其他支払	▲ 16,860	▲ 4,023	▲ 12,837	新型コロナウイルス感染症対策中小企業等持続化給付金の支払等
特別会計	19,060	42,569	▲ 23,509	
財政投融资	17,530	33,931	▲ 16,401	地方公共団体・機関からの貸付回収等
外国為替資金	-	2,330	▲ 2,330	
保険	19,570	26,649	▲ 7,079	保険料等の受入
其他	▲ 18,040	▲ 20,341	2,301	公債の利子支払等
一般会計・特別会計等小計	▲ 22,920	23,381	▲ 46,301	
国債等	31,150	▲ 12,839	43,989	
国庫短期証券等	94,150	3,125	91,025	公募発行見込額約41.4兆円
国債等・国庫短期証券等小計	125,300	▲ 9,714	135,014	
調整項目	▲ 30	▲ 601	571	
総計	102,350	13,066	89,284	

◆2020年9月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（財政融資資金の回収、2Y発行）、2日（税・保険料揚げの前倒し）、9日（5Y発行）、11日（20Y発行）、14日（源泉税揚げ、TB3M発行超過）、25日（TB6M発行、40Y発行）。一方、主な余剰予定日は23日（国債の大量償還・利払い）。

◆2020年9月の短期金融市場予想

●コール市場

主な揚げ要因に国債の発行超過、税・保険料揚げ等があり、主な払い要因に交付税の払い、各種コロナ対策関係の払い、国債の大量償還・利払い等が挙げられる。月間を通した財政等要因は大幅な揚げ超となるが、各種買入オペや新型コロナオペ等による金融調節で大幅に日銀当座預金が増加することから、月末の日銀当座預金残高は470兆円台半ばとなる見込み。月中の無担保コールO/N加重平均レートは、月前半は緩やかに低下する展開を予想する。9日に発表される、9月積み期間に適用される基準比率は29.0～30.0%程度（8月は29.0%）を予想する。

●CP市場

8月末の発行残高は25兆6,354億円（前月比+1,126億円、前年同月比+4兆2,940億円）と前年比で大幅なプラスとなった。前年同月比の増加は42ヶ月連続となる。月末残高としても過去最高を記録した。9月末には事業法人が有利子負債を圧縮すると見込まれ、若干残高が減少すると見込まれる。CP等買入オペのレートが低下基調となっている中、オファー額が前月より回数が増加（3回・各々6,000億円）し、月末の発行残高も減少が見込まれることから、1・2回目のCP等買入オペは低下基調が継続すると考えられる。発行レートは、オペの結果（オファー額の減額なども可能性としては考えられる）次第ではあるが、マイナス圏での推移が続くと見込まれる。

●短国市場

短国の需給全般が若干改善する中、9月に入ってからGCレートが低下していることもあり、3M物は▲0.12～▲0.10%、6M・1Y物は▲0.15～▲0.13%程度の推移となっている。今月の短国買入オペは、1日に2兆円でオファーされるなど、概ね予想通りの額で始まった。短国の入札は、海外勢の動向や足元のレート次第ではあるものの、月前半はしっかりした展開が続くと予想する。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料はあらゆる取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされましますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。